

会 告

社団法人 土 木 学 会

行事案内	月 日	行 事 名	場 所	備 考
本 部	5月27日(金)	第52回 通常総会	札幌市	3号2ページ参照
	5月28日(土)	総合講演会	同	3号2 "
	5月28日(土)	懇親会	同	3号2 "
	5月28日(土)	} 年次学術講演会	同	3号2 "
	5月29日(日)			
	5月29日(日) ~30日(火)	見学会	北海道各地	3号2 "
そ の 他	3月24日(木)	日本工学会講演会	東 京	3号5 "
	4月20日(水)	日本工学会第16回見学会	"	3号5 "
	4月19日(火) ~21日(木)	第3回理工学における同位元素研究発表会	"	12号5 "
お知らせ	■ 土木図書館および講堂の利用について			2号6 "
	■ 評議員選挙告示			2号8 "
	■ 理事および監事の選挙告示			2号8 "
	■ 41年からの会費改正についてのお知らせ			3号3 "
	■ 41年度論文集予約申込みについて			3号4 "
	■ 北海道支部移転のお知らせ			3号4 "
	■ 第2回「国土開発映画コンクール」作品募集			3号5 "
	■ 8学会互報欄			3号5 "
■ 国際会議のお知らせ			3号6 "	

第52回通常総会招集のお知らせ

第52回通常総会を下記によって招集いたします。

多数のご出席をお願いいたします。なおご欠席の場合は本誌添付「はがき」によって委任状をご送付下さるよう、お願いいたします。

記

日 時：昭和41年5月27日(金)14時より

場 所：札幌市北三条西四丁目(日本生命ビル)

会議に付議すべき事項：

- 1) 昭和40年度事業報告
- 2) 昭和40年度決算報告
- 3) 名誉会員の推挙

第 52 回通常総会および第 21 回年次学術講演会

昭和 41 年度通常総会および年次学術講演会は、つぎの日程で札幌市において開催いたします。

学術講演会の講演申込みおよび原稿は締切りでしたが、多数ご参加下さるようご案内いたします。

総会懇親会、見学会、講演概要などの申込み方法は従来はプログラムでお知らせいたしておりましたが、今回より本誌でお知らせすることになりましたのでご了承下さい。期日の関係で申込用紙を本誌に添付いたしましたのでご注意下さい。なお、プログラムは従来通り別途送付致します。

○行 事 日 程：

1. 通常総会：5月27日(金) 14時～17時 於日本生命ビル(札幌市北3条西4丁目)
2. 総合講演会：5月28日(土) 9時～12時 於北大クラーク会館(北大構内)

9.05～10.00 日本港湾の特異性と臨海工業地帯造成事業の推移	土木学会会長 工博 岡部三郎
10.05～11.00 北海道開拓100年の歩み	北海道大学教授 農博 高倉新一郎
11.05～12.00 北海道開発の現況	北海道開発局長 遊佐志治磨
3. 学術講演会：5月28日(土) 13時～17時 } 於北大教養部・工学部・理学部・医学部(札幌市北17条西8丁目)17条
5月29日(日) 9時～17時 } 電停下車
4. 懇親会：5月28日(土) 18時～19時30分 宮の森ガーデン(札幌市郊外宮の森・北海道神宮裏) 会費：500円
5. 見学会：会費；A班200円 B班5000円 C班8500円

(A) 札幌市内コース	5月30日(月) (3時間)
(B) 登別、洞爺コース	5月30日～31日 登別泊、洞爺駅 16.00時解散
(C) 阿寒コース	5月29日夜行～31日 川湯温泉泊、釧路駅 17.30時解散

○土木学会第 21 回年次学術講演会実施要領

I 講演要領

- ① 研究発表には、各部門ともできる限り一般報告の方式を採用し、やむを得ない場合に限り著者自らによる個人発表の方式を採用する。
- ② 一般報告の方式は、同じ種別の論文数編ずつを、学会で委嘱した一般報告者が総括して報告し、その後で質疑討論を行なう。この場合の応答には、各著者が自らこれに当たり、場合により著者の補足説明を認められる。
- ③ 一般報告に付する論文は、学会で決定し、プログラムにのせる。
- ④ 講演概要の記述にあたっては、一般報告者が、その概要にもとづいて報告することを予想し、必ずそれぞれの研究の考え方と結論をわかりやすく書くこと。
- ⑤ 個人発表の方式では、講演時間を10分(交代時間をふくむ)とし、数編の講演後にまとめて質疑討論の時間を設ける。
- ⑥ 講演概要集は4月下旬に各参加者に事前送付する。

II 原稿提出要領：原稿は2月28日で締切りしました。

○申 込 方 法

通常総会・総合講演会・年次学術講演会・懇親会の参加申込みは本号添布のクリーム色の用紙で、また見学会・宿泊・乗車券・航空券の申込みは浅黄色の用紙にそれぞれ必要事項をご記入の上、4月15日までに土木学会北海道支部へお申込み下さい。なお、北海道支部は下記へ変更致しましたのでご注意下さい。

札幌市南一条西2丁目・勸銀ビル5階(電 札幌 25-2211・内線 252)

土木学会北海道支部事務局大会係あて

41 年度から会員の会費改正についてお知らせ

(昭和 40 年 12 月 18 日の臨時評議員会にて決定)

経済界は不況にあえぎ、諸物価は上り、公共料金また相次ぐ値上げが実施されようとしています。このときに当って会費の値上げをお願いしなければならないことは誠に心苦しいものがありますが、業務の効率化をはかり経費の節減につとめ、また一方では広告料、出版等による増収をはかつてはおりますが、諸物価や印刷費の上昇、公共料金の値上げ、人件費の増加等のため、いかんとも致しがたい状況に追い込まれましたので、これらの事情ご賢察のうえ、会員各位のご理解とご協力を切にお願い申し上げる次第であります。

以下会費値上げのやむない実情を要約して申し述べます。

1. 会費に対する見返り支出額

39 年度の決算から計算いたしますと、次表のように正会員では年会費 1800 円に対して 2221 円の支出で 123%、学生会員では会費 900 円に対して 1768 円の支出で 196% となっています。40 年度はさらにこれを上まわる数字となることは明らかです。

種 別	会費(年)	会 誌 費	名 簿 費	支部交付金	会議費その他	計	率
正 会 員	1800	1686	220	150	165	2221	123%
学 生 会 員	900	1686	—	—	82	1768	196%

(名簿は 2 カ年に 1 回につき経費は半額を計上した)

2. 土木学会の収入源

当学会の収入を 39 年度の実績で見ると、総収入は 1 億 2058 万 5000 円で、その内訳は大きく分けてつぎの 4 つとなります。会費 30.8%、刊行物 25.6%、広告 17.2%、受託研究費 20.7% であります。広告収入も経済界の不況のため増収は困難の状況であり、刊行物収入も、受託研究費も急激に伸ばすことは困難な情勢です。受託研究費のごときは減少するのではないかと思います。

3. 40 年度は欠損見込み

40 年度予算は編成するときから無理な点がありましたが、その後給与のベースアップ、印刷費の高騰、出版物が予定より遅れるものがある等のため、諸経費の節約につとめてはおりますが、決算ではある程度の赤字はやむを得ない状況であります。

4. 各種の値上り

すでに新聞などで報じられているように、公共料金はじめ、各種の物価や労賃が相ついで値上げされる情勢にあります。当学会の経理に直接影響の大きいものをあげて見ると、

a) 郵便料金：郵政省は来年 4 月から平均 36.8% の値上げを要請していますが、郵政審議会は 41 年 7 月から 29.5% の値上げとし、封書は 15 円、はがきは 7 円にすることを答申しています。通信費、発送費等は 40% の値上げと考えられ大きく響きます。

b) 鉄道運賃：国鉄は 41 年当初から、私鉄も続いて値上げが決定されています。国鉄の場合、旅客 31.2%、貨物 12.3%、通勤定期 168.0% の値上げが予定されています。また私鉄については平均 22.3% の値上げとなりました。

c) 印刷製本費：当学会および他学会の例をとっても毎年 7~8% の騰勢を示しています。

d) 人件費：学会職員の給与は公務員給与に準じていますが、35 年から毎年 6~8% のベースアップが続けられ、このほか定期昇給がありますので毎年 10% 程度上昇しています。このすう勢は今後も続くと思われま。

e) その他：電話料金、水道料金等の値上げも行なわれることは確実です。

5. 他学会の値上げの状況

学会の経営が苦しくなって参りましたことは、ひとり土木学会だけのことではなく、他学会も同様でありまして、

過日8学会（電気、電気通信、建築、化学、機械、土木、鉄鋼、物理）の担当理事の協議会でこの問題について話し合いが行なわれました。いずれも経営の困難を訴え、すでに値上げをして実施中のところ、決定ずみのところ、検討中のところ等でありましたが、値上げの幅は33.3%から100%の範囲であります。

6. 従来の上上げ

個人会員の会費は昭和37年度に値上げされました。正会員会費は1200円が1800円に、学生会員は600円が900円となり今日に至っております。したがって前回値上げ後4ヵ年を経過しています。

団体会員の会費は沢山の等級に分れていますが、36年に40～100%の値上げが行なわれました。

7. 会費の上上げ額

会費の上上げは極力避けるべきであります。公共料金をはじめ、人件費、諸物価の大幅値上げは避けられない情勢にありますことは前に述べたとおりであり、この危機を脱し、学会の正常な運営を計るためには、会員会費の上上げをお願いするほかにありません。種々と検討の結果、次表のように個人会員33.3%、団体会員平均49%の上上げをお願いすることに改正された次第であります。何卒ご協力のほどお願いいたします。

	改正会員会費(41年4月より)	(現行)
正 会 員	2 400 円	1 800 円
学 生 会 員	1 200	900
外 国 会 員	10 ドル	8 ドル
特 別 会 員		
特 級	150 000 円以上	100 000 円以上
1 級 A	100 000	70 000
1 級 B	60 000	40 000
1 級 C	30 000	20 000
1 級 D	15 000	10 000
2 級	7 000	5 000

昭和 41 年度論文集予約申込みについて

◀ 申込締切 3 月 31 日 ▶

41 年度論文集（41 年 4 月～42 年 3 月）の予約申込みを行ないますので、ご希望の方は年間購読料 1 000 円（外地の場合は 6 ドル）を添えて、3 月 31 日までにお申込み下さい。従来購読されておられる方もお忘れなくお申込み下さい。

なお、41 年度より論文集の購読料も会費と同様諸般の事情により値上げのやむを得ない事情になりましたのでよろしくご了解下さい。

北海道支部移転のお知らせ

土木学会北海道支部事務局は、今般下記へ移転しましたのでお知らせします。

札幌市南一条西 2 丁目・勸銀ビル 5 階

(電 札幌 25-2211 内線 252)

日本工学会行事案内

(1) 講演会

◀ 3月24日(木) 13.30~16.00 ▶

1. 演 題:

13.30~14.30 南極観測船ふじについて

防衛庁技研本部副技術開発官 緒明 亮 乍

14.30~16.00 南極越冬生活

第4次南極越冬隊長, 理博) 鳥居 鉄 也
財団法人日本極地研究振興会常務理事)

注: 鳥居氏は第4次南極越冬隊長として活躍され, 緒明氏は南極観測船ふじの設計を担当されました。

2. 会 場: 日刊工業ホール (東京都千代田区飯田町 1-1 都電・地下鉄 九段下車3分)

3. 定 員: 300名 (来聴歓迎・多数ご参加下さい)

(2) 第16回見学会

◀ 4月20日(水) 14.00~16.00 ▶

1. 見 学 先: 日立中央研究所 (国分寺市恋ヶ窪 280・国電中央線国分寺駅北口から 西武多摩湖線に沿い, 第1の踏切を左に渡り, 第2踏切を右に見て左側・徒歩7分)

2. 定 員: 50名 (先着順に参加証を送ります)

3. 集 合 地: 4月20日 14.00 までに日立中央研究所正門

4. 申 込 期 限: 4月10日 (はがきに第16回見学会申込と書き, 住所・氏名・所属学会・勤務先を記入して日本工学会へ)

5. 日本工学会: 東京都港区芝琴平町 35・造船協会内 (電 東京 502-2049)

(3) 日本工学会年報頒布について

標記の図書が刊行されましたのでご希望の方は日本工学会へお申込み下さい。本誌には工学会傘下約50の学協会の事業, 会員, 会費, 役員, 支部, 委員会, 機関誌, 刊行物, 表彰制度, 財政, 概要等がとりまとめであります。

体 裁: B5判 120ページ 価 格: 500円 (送料とも)

第4回接着研究発表会講演募集

日本接着協会, ほか関係団体による標記の講演会が本年6月大阪市において開催される予定です。講演ご希望の方は日本接着協会へご連絡下さい。

研 究 発 表: 講演 15分 討論 5分

研究発表の内容: 接着に関するすべての研究 (A)物性 (B)界面現象 (C)合成 (D)応用加工 (E)分析 (F)試験法

申 込 締 切: 1966年 3月20日

講演要旨締切: 1966年 4月30日 (所定の用紙に限る)

申 込 方 法: 題目・発表者名 (講演者に○印)・勤務先・電話・ビラまたはスライドの有無・講演概要 (100字程度) 明記して日本接着協会へお申込み下さい (用紙は自由)。

日本接着協会: 大阪市西区江之子島・大阪府立工業奨励館内 (電 大阪 441-4755-9)

8 学会互報欄

◀ 電気学会 (東京都千代田区有楽町 1-3・電 東京 201-0983)

電力用サイリスタの応用専門講習会 (4月13(水)~15日(金) 10.00~17.00, 会場・日本電機工業会, 申込締切・3月31日, 会費・2000円)

◀ 日本機械学会 (東京都港区赤坂一ツ木町 89 電 東京 582-6911)

冷凍機空調和に関する講演会 (4月22日(金)~23日(土) 9.00, 会場・日本化学会講堂, 参加・自由, 前刷申込み, 締切・4月15日)

国際会議のお知らせ

(1) Symposium on Suspension Bridgesのお知らせ

Place and Date : 7 th-11 th November, 1966.

Lisbon at the "Laboratório Nacional de Engenharia Civil"

Themes : (1) Conception, (2) Design, (3) Construction, (4) Maintenance, (5) Observation

Correspondence : Secretariado do Simposio de Pontes Suspensas

Laboratório Nacional de Engenharia Civil

Avenida do Brasil Lisboa 5 Portugal

つり橋に興味をお持ちの方は参加できます。くわしくは土木学会土木学会編集課 (351) 5130 までご照会下さい。

(2) 5 th Post-Graduate Course on Land Drainageのお知らせ

Dates : 12 th September-16 th December, 1966

Place : Wageningen the Natherlands

申込案内が土木学会に来ております。くわしくは編集課 (351) 5130 までご照会下さい。

第2回「国土開発映画コンクール」作品募集

土木学会は昭和 39 年秋、創立 50 周年を記念して「国土開発映画コンクール」を開催いたしました。この実績にかんがみて、今後隔年に映画コンクールを開催し、もって最近の土木技術発展のあゆみを、視聴覚によって、広く PR せんとするものであります。「第2回国土開発映画コンクール」作品をつぎによって募集いたします。ふるって応募のほどお願いします。なお、優秀作品は、当学会「建設技術フィルム・ライブラリー」として活用をはかる予定であります。

第2回国土開発映画コンクール要領

1. 内 容 : 国土開発に関し、土木技術を主とした映画
2. 規 格 : 16 mm カラートーキー (上映時間 20 分以上)
3. 審 査 : 土木学会映画審査委員会
4. 賞 状 : 1等 1編 2等 2編 3等 3編 おのおの賞状ならびに賞牌
5. 発 表 : 1966 年 11 月 24 日 (土木学会創立記念日)
6. 締 切 : 1966 年 9 月 30 日
7. 申 込 先 : 土木学会事業課あて

コンクリート・ライブラリー第 14 号

第2回異形鉄筋シンポジウム

標記の図書が新しく土木学会より発行されました。本書は高張力異形鉄筋に関する諸研究を取りまとめたもので、高張力異形鉄筋の製造者ならびに使用者の方々への有益な参考資料となるものと信じます。集録した論文には、異形鉄筋のデフォーメーションの細部が、その付着性状や耐疲労性を詳細に論じたものや、付着性状の新しい試験方法について論じたものも多くあります。これらは諸外国にも例を見ない貴重な研究であると確信しご一読をおすすめします。

体 裁 : B 5 判 238 ページ 19 論文集録
定 価 : 1 100 円 会員特価 : 900 円 送 料 : 70 円